

被覆攻撃の対象となる偶標数有限体上の楕円・超楕円曲線に対する 同種条件下の完全分類

A classification of elliptic and hyperelliptic curves over finite fields of even characteristic subjected to the cover attack under the isogeny condition

村井 公輔 * 志村 真帆呂 † 飯島 努 ‡ 趙 晋輝 *
Kousuke Murai Mahoro Shimura Tsutomu Iijima Jinhui Chao

キーワード 楕円・超楕円曲線, 被覆攻撃, GHS 攻撃

1 あらまし

GHS攻撃の一般化である被覆攻撃とは、有限体 $k := \mathbb{F}_q$ (q : 素数のべき乗) の d 次拡大体 $k_d := \mathbb{F}_{q^d}$ 上定義される楕円・超楕円曲線 C_0 の離散対数問題を、 k 上定義される被覆曲線 C の離散対数問題に変換する攻撃手法である。近年、攻撃の対象となる奇標数拡大体上の種数 1, 2, 3 超楕円曲線暗号に用いられる曲線の完全分類が行われた。百瀬らにより、偶標数拡大体 k_d 上の種数 1, 2, 3 楕円・超楕円曲線 C_0 に対して、同種条件 ($g(C) = d \cdot g(C_0)$) 下で曲線の分類結果が発表されている [1]。本論文では、百瀬らの結果を再検討し、分類表の検証と修正を行い、詳細な証明を与えた。

2 被覆攻撃

k_d/k 上のフロベニウス自己同型写像を $\sigma_{k_d/k}$ とし、 $\sigma_{k_d/k}$ の位数 d の拡張 σ を考える。そのとき、 $k_d(C_0)/k_d(x)$ のガロア閉包 K は、 $K := k_d(C_0) \cdot k_d(\sigma C_0) \cdots k_d(\sigma^{d-1} C_0)$ であり、 σ の固定体 K' は、 $K' := \{\zeta \in K \mid \sigma(\zeta) = \zeta\} \simeq k(C)$ となる。GHS 攻撃とは、偶標数拡大体上の楕円曲線に対し、 k_d 上 $J(C_0)$ の離散対数問題を k 上 $J(C)$ の離散対数問題に変換して解く手法である。現在この手法は、

より一般的な曲線にも適用されており、被覆攻撃として一般化されている。

3 分類表抜粋

以下に被覆攻撃の対象となる偶標数拡大体 k_d 上の超楕円曲線 C_0 に対する同種条件下での分類の一部を記す。

$$C_0/k_d : y^2 + g(x)y = f(x), \text{char}(k_d) = 2$$
$$\deg g(x) = g(C_0) + 1, \quad \deg f(x) = 2g(C_0) + 2$$
$$(I) \sigma g(x) = g(x), (II) \sigma g(x) \neq g(x)$$

	ex) $g(C_0) = 3, d = 3, n = 2$
(I)	$L(f(x)) = f(x) + \sigma f(x) + \sigma^2 f(x) = 0$
(II)	$g(x) = g_1(x)(x + \alpha^q)(x + \alpha^{q^2}), \alpha \in k_3 \setminus k$ $g_1(x) \in k[x], \deg g_1(x) \leq 2$ $L((x + \alpha)^2 f(x)) = 0 \quad (*1)$
(II)	$g(x) = (x + \alpha^q)^2 (x + \alpha^{q^2})^2$ $\alpha \in k_3 \setminus k, L((x + \alpha)^4 f(x)) = 0 \quad (*2)$

$$(*1) L((x + \alpha)^2 f(x)) = (x + \alpha)^2 f(x) + (x + \alpha^q)^2 \sigma f(x) + (x + \alpha^{q^2})^2 \sigma^2 f(x) = 0$$

$$(*2) L((x + \alpha)^4 f(x)) = (x + \alpha)^4 f(x) + (x + \alpha^q)^4 \sigma f(x) + (x + \alpha^{q^2})^4 \sigma^2 f(x) = 0$$

参考文献

- [1] F. Momose and J. Chao, “Classification of Weil restrictions obtained by $(2, \dots, 2)$ coverings of \mathbb{P}^1 ”, preprint, 2006. Available from <http://eprint.iacr.org/2006/347>

* 中央大学理工学研究科情報工学専攻, 〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27, Information and System Engineering Course, Graduate School of Science and Engineering Chuo University, 1-13-27 Kasuga, Bunkyo-ku, Tokyo

† 東海大学理学部情報数理学科, 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1, Department of Mathematical Sciences, Tokai University, 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

‡ 株式会社 光電製作所, 〒146-0095 東京都大田区多摩川 2-13-24, Koden Electronics Co., Ltd, 2-13-24, Tamagawa, Ota-ku, Tokyo